

コンフォートゾーンの先にある人生

あえてリスクをとることを選ぶ人たちがいます。彼らはバンジージャンプや、スカイダイビングで最初に飛び込んでいきます。彼らはレストランのメニューをみて、多くの人が避けるであろう珍しいものを探します。彼らは会社員としての安定するよりも、成功するか確信がなくても自分の夢をあきらめたくないで、自分で事業を起こします。

わたしはこういう方をととても尊敬します。なぜなら、わたしは人生の大半を安全な場所だけを選んで歩んできたからです。あまり抵抗のない道、ストレスのない道、快適な場所を求めて、注意深く決断してきました。しかし、自分のコンフォートゾーンを突き抜けた時に、たくさんの実りある経験をすることができました。

ある講演者が「コンフォートゾーンの先にある人生」について語った際に、私はそう思いました。それは多くの意味を持ちます。例えば、新しいアイデアをもとめ、自分の考えに対して挑戦をすること。また、お気に入りのレストランでいつものオーダーと違うものをたのんでみたり、もしくは全くレストランを試してみたりすることです。

わたしの経験の中で、一番実のある結果を得たのは自分のコンフォートゾーンから突き抜けたときです。例えば、わたしが書いた記事が雑誌掲載に初めて検討されたとき、初めて本を書く人の手助けをすること、また、私の経済的な支援を必要とするミニストーリーに入るために安定した収入を手放したり、本来は恥ずかしがりやにもかかわらず人前で話したりしたときです。

霊的にも同じことが起こります。わたしが CBMC の「オペレーションテモテ」を学んだ時のことです。友人にわたしのメンターになってくれるように頼みました。その時、彼はこう言いました。「あなた自身が責任をもってオペレーションテモテを教えるはどうですか?」。ほかの人の霊的成長を助けていくことに対して、わたし自身はまだ準備ができていないと思いましたが、この経験が今までにないほど恵まれたものになりました。それだけでなく、一番成長したのはわたしだったのです!

自分のコンフォートゾーンを突き抜けるためには、わたし達の人生をイエス・キリストに明け渡すことです。それは、私たちの希望が死んだあとにある、というだけでなく生きている間にもあるということです。それは職場においても、です!特に同僚たちの行動と相反するとき、聖書の教えに従って経営をしたり、職務を果たしていることでコンフォートゾーンを完全に突き抜ける

のです。このことについて、聖書にはこう記されています。

誠実であり続けること、例えみんながそうでなくてもです。 競争社会で生きるということは、ほかの人と同じように行動したいという誘惑に簡単に引き込まれます。神様の基準は、常に全く違うのです。信仰とは、時にみんなと違うことを行うということです。

「まっすぐに歩む者の歩みは安全である。しかし自分の道を曲げる者は思い知らされる。」 箴言 10:9

今いる状況が分からないとき、神様を信頼することです。 予期しないことが起きた時、わたし達には理解できず、どうしたらよいかわかりません。こういう状況は、神様がわたし達に自分のコンフォートゾーンを突き抜け、その代わりに神様にあって安心するよう教えてくれているのです。

「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強め、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る」 イザヤ 41:10

もっと深めるために:

1. あなたはリスクをとりますか?それとも、コンフォートゾーンを求めますか?どうしてですか?
2. なぜ、わたしたちにはコンフォートゾーンに居続けるのでしょうか?
3. あなたは自分のコンフォートゾーンを突き抜けたことがありますか?どのような状況でしたか?結果はどうでしたか?この経験はどのようにあなたへ影響を与えましたか?
4. イエス・キリストに対しての信仰はわたし達をコンフォートゾーンから突き抜けさせてくれると信じますか?どうしてですか?

参考聖書箇所リストです。参照ください:

詩篇 1:1-6・箴言 3:5-6・箴言 16:3、9・箴言 23:23・イザヤ 26:3・イザヤ 40:27-31・エゼキヤ 29:11。

この発行はロバート・J・タマシによって書かれた物であります。月曜日のマナ®は CBMC より毎週発行しているメールマガジンであり「ビジネスとマーケットプレイスをキリストに」の世界的働きで、利益を求める活動では無く、超教派で、1930年に創立され、各業界で働いている従業員、又、経営者へイエス・キリストを宣べ伝える事を目的としています。©2019年-この発行の全ての権利はブラジル CBMC・日本 CBMC にあります。